

第1号議案

令和5年度 事業報告

*親子のふれあいの場づくりと、

子育てに悩む親の支援に関する事業*

1 もんぜんぷら座こども広場	回数	参加人数												
<p>5月8日より新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、広場利用の規制がなくなり、開館時間内であればいつ来てもいつ帰っても良い施設に戻った。また、お食事コーナーやお昼寝室も開放され、1日ゆっくり利用していく家族の姿が見られるようになった。</p> <p>I 実施事業</p> <p>1 子育て中の親とこどもの交流に関する事業</p> <p>(ア) ねんねの会 毎月2回</p> <p>(イ) 手形をとりませんか? 毎月1週間</p> <p>・上記の他、毎日午前11時10分、午後2時30分に、工夫して「手あそび」や「うた」「体を使ったあそび」などを行った。</p> <p>2 子育てに関する相談</p> <p>ア おしゃべり会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年齢別おしゃべり会 <table style="margin-left: 20px; border: none;"> <tr> <td style="text-align: right;">0歳児</td> <td style="text-align: right;">24回</td> <td style="text-align: right;">155組</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">1歳児</td> <td style="text-align: right;">12回</td> <td style="text-align: right;">119組</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">2・3歳児</td> <td style="text-align: right;">12回</td> <td style="text-align: right;">40組</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">5回</td> <td style="text-align: right;">57組</td> </tr> </table> ・ はじめてのながのウェルカム交流会 <p>イ 専門家相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「こどものこころとからだの相談室」 小児科医（第1木）14時～16時 10回 26件 ・ 「歯科相談」 歯科医師 月1回不定期 12回 108件 ・ 「お食事なんでも相談」 栄養士1名 （第1, 3木）10時10分～16時30分 24回 74件 ・ 「妊娠・出産・母乳相談」 助産師3名 （第3金）12時30分～14時30分 12回 89件 ・ 「お母さんの心の相談室」（第2土） 11回 15件 ・ 「療育相談」 療育コーディネーター 月1回10時30分～14時 12回 26件 ・ 「就業相談」 女性就業相談員、女性就業アドバイザー（第2金） 11回 10件 ・ 「ママのための心の相談」 臨床心理士 12回 15件 <p>ウ 子育て相談 毎日 スタッフ 毎日 2,718件 子育てコンシェルジュ 週5日 2,867件</p>	0歳児	24回	155組	1歳児	12回	119組	2・3歳児	12回	40組		5回	57組		
0歳児	24回	155組												
1歳児	12回	119組												
2・3歳児	12回	40組												
	5回	57組												

3 子育てグループ等の育成		
ア 子育てグループへの遊びなどの指導者派遣		
第三地区「サンサン広場」	11回	87組
浅川社会福祉協議会「アップルキッズ」	2回	20組
若槻住民自治協議会「お母さん何でもトーク」	2回	18組
	4回	14組
イ 子育てグループへの活動スペースの提供		
ウ 子育てグループの紹介		
「長野市子育て支援ガイドブック」をホール内に設置すると共に 問い合わせに対しては随時対応した。		
エ 子育てグループ代表者会議の開催		
登録グループが1グループのみのため、開催しなかった		
4 子育てに関する情報の提供		
ア 子育て情報の掲示板の活用		
・利用者からの情報や子育てグループが製作している情報誌等を設置		
イ 子育てに関するイベント、団体の情報の掲示		
・イベント情報の掲示板を活用し、長野市内にとどまらず子育てに関するNPOグループの情報を掲示。		
5 あそびに関する指導及び助言		
子育て中の親とこどもの交流に関する事業に含む		
6 子育て情報誌の発行		
子育て情報誌「じゃん・けん・ぽん」の発行（隔月）6回発行	6回	12,000部
7 子育て講座、イベントの開催		
ア 子育て講座		
・ 子育てお助けセミナー		
保育所・幼稚園選びについて（個別対応）	2回	98組
・ わんぱく散髪講座	2回	19組
・ 休日マタニティセミナー	12回	193組
・ 親子で絵本タイム	12回	152組
イ ながのわくわくパパ講座（実行委員会：スマイルパパ部）		
・ Zoomを利用したのオンライン講座として実施	3回	13人
今年度のテーマ 「コロナ明け！さあ何する？！」		
7月14日、9月8日、2月9日 いずれも金曜日		
・ 広場で実行委員のパパと遊ぼう	1回	25組
「パパ講座 スペシャル」8月27日		
・ 公園での集合講座	3回	22組
10月10日、11月23日…城山公園（体遊び・焼き芋体験）		
2月19日…子どもの森幼稚園（雪遊び）		

ウ イベント		
・ じゃん・けん・ぼんバースデイ	6月1日	23組
・ 親と子の歯のつどい	6月1日	10組
・ 七夕	7月7日	50組
・ ノーバディズパーフェクト講座 9/22～10/27	6回	34組
・ じゃんけんぼん運動会	10月11日	25組
・ 防災講座	10月26日	12組
・ 来場者100万人達成セレモニー	12月19日	41組
・ クリスマス会	12月25日	65組
・ 冬のあそび広場	2月2～4日	
豆まき	2月2日	62組
節分おはなし会	2月3日	28組
わらべ歌と工作	2月4日	43組
・ ひな祭り	3月1日	30組
8 訪問型子育て支援事業		
妊娠期～6歳未満の子どものいる家庭へ途切れのない支援		
・ 利用者の状況		
新規利用者 81人、継続利用者 14人		
産前新規利用者 11人、継続利用者 0人		
延べ訪問回数 オーガナイザー＋ビジター 596回		
・ スキームの状況		
基本：オーガナイザー3人、		
登録ホームビジター 47人（活動HV 30人）		
産前：オーガナイザー2人、		
登録ホームビジター35人（活動HV 23人）		
・ ホームビジター説明会：もんぜんぷら座	4月23日	4名
・ ホームビジター養成講座 5人		
令和5年5月25日～7月6日		
・ 産前産後支援ホームビジター養成講座 17名	2回	17名
令和6年1月25日、31日		
・ ホームビジタースキルアップ講座		
① 前年度の活動報告とおしゃべり会	5月15日	8人
② 傾聴講座	7月24日	11人
③ 妊娠期の食生活とこどものおやつづくり	9月14日	4人
④ 子どもの性を考えよう	11月16日	6人
⑤ 楽しく読み聞かせ	1月19日	10人
⑥ 折り紙	3月4日	7人
・ OGスキルアップ・研修		
ホームスタート・ジャパン等が開催するオンライン研修等に参加		
・ 危機管理について		
予期せぬ出来事の調査：2件聴取		
・ 運営委員会		
令和6年3月12日 12名参加		

	<p>9 利用者支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てコンシェルジュを配置し、子育て支援の情報提供を行った 月・火・木・金・土 ・相談の人数 面接：2,801人 電話：66人 ・利用の状況 <ul style="list-style-type: none"> ケース数：370件 相談件数：2,867件 <ul style="list-style-type: none"> 内訳 情報提供：1,471件、他の支援につなぐ：174件 同行支援：0件、訪問：0件、その他：21件 傾聴：1,238件 <p>10 その他子育て支援に関すること</p> <p>ア 世代間交流事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 折り紙講座（シニア講師） 月1～2回 <p>イ ボランティアの受け入れ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ばぶちゃんからのおはなし・わらべうた（語り） 月1回 ・ ベビーマッサージ 月1回 ・ おもちゃ病院の開催 月1回 ・ みんなで歌おう（長野少年少女合唱団） 月1回 ・ 絵本の読み聞かせ（おはなしボランティア） 月1回 ・ 交通安全のおはなし 年6回 ・ マザーグースの手遊び 年6回 ・ 世界の言葉（ヒッポファミリークラブ） 年4回 ・ 紙芝居（清泉女学院短期大学サークル） 2回 ・ 親子で楽しく歯みがきシュッシュ（県歯科衛生士会） 2回 ・ アートプログラム 1回 ・ お絵かきひろちゃんと遊ぼう 1回 ・ フルートのミニファミリーコンサート 1回 <p>* ボランティアの受け入れ 社会人 461人、 学生 114人、 合計 575人 (サマーチャレンジボランティア 30人、 地域まるごとキャンパス、インターンシップ 16人を含む)</p> <p>エ リユースマーケット 毎月月末1週間 12回</p> <p>オ 出張広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゆりかごの会（月1回 第2火曜日イーストプラザ） 大勢の人のいる所に来られないお母さんのための広場を開催。 12回 26組 ・ あそびましょう（東部保健センター） 月2回 じゃん・けん・ぽんへなかなか来られない地域東部保健センターに出向き、「あそびましょう」を開催。 24回 242組 ・ ふたご・みつご広場（北部保健センター）月1回（第1月曜日） 長野市保健所との協働事業、北部保健センターと共催。 多胎児親子向けの遊びの広場を運営。 12回 76組 		
--	--	--	--

	<p>カ 子育て中のお母さんのためのリフレッシュ講座 中止</p> <p>キ 地域連携事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 灯明まつり「ゆめ灯り絵展」に出展 2/9～2/12 ・ ながの子ども・子育て応援フェスティバル 11/19 ・ 地域まるごとキャンパス 2023 に活動フィールド参加 主催 ながの協働ねっと, (特非) 長野県 NPO センター 4名、各3日 延べ15日 <p>II その他</p> <p>ア 教育機関との連携</p> <p>長野市キャリア教育推進事業「赤ちゃんだっこ」 4校9学級 9回 45組</p> <p>長野県立大学健康発達学部こども学科 「赤ちゃんママのおしゃべり会」 3回 18組</p> <p>長野看護専門学校臨地実習 母性看護実習 各2日 66人</p> <p>長野清泉女学院大学看護学部 小児期看護学実習 9回 40人</p> <p>長野清泉女学院短期大学 幼児教育学科子育て支援見学実習 9回 87人</p> <p>翼プロジェクト探求学習(長野高校) 1回 2人</p> <p>イ 行政等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もんぜんぷら座防災訓練に参加 6月28日、10月26日 年2回 13人 <p>ウ 視察・見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視察 鹿児島県議会議員 朝霞市議会議員 上田市健康こども未来部子育て・子育て支援課 若槻地区住民自治協議会 安茂里地区民生児童委員 ・ 取材に協力 信濃毎日新聞社、中日新聞、週刊長野 SBC 信越放送、テレビ信州、長野放送、長野朝日放送 長野ケーブルテレビ <p>III 令和5年度 利用者数 40,114人</p> <p>乳幼児数 18,478人、小学生 158人</p> <p>大人 21,478人</p> <p>令和5年度新規登録者数 1,736人</p>		計 1200 名
--	--	--	----------

2 長野市ファミリー・サポートセンター			
<p>長野市内における育児の援助を受けたい者（依頼会員）と育児の援助を提供するもの（提供会員）を会員として登録し、会員間による育児の相互援助活動を支援。仕事と育児を両立できる環境を整備し、地域の子育て支援基盤を整備することにより、保護者等の福祉の増進、及び子どもの健やかな育ちを促進した。</p>			
<p>1 実施事業</p>			
<p>ア 入会説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員登録のために月 1 回開催 ・窓口入会 ・訪問入会 ・提供会員向け入会説明会を養成講座前月に年 2 回開催 内 講座修了者 10 名 		<p>15 回 随時 随時 2 回</p>	<p>123 人 44 人 2 人 のべ 45 人</p>
<p>イ 入会者数 160 人 依頼会員 155 人、提供会員 5 人、両方会員 0 人</p> <p>訪問入会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・骨折で動けず自宅へ訪問し ・保健センターからの紹介 			
<p>ウ 講習会</p> <p>提供会員・両方会員養成講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・援助活動をするために、知識等を習得する講習会 年 2 回（1 講習 5 日間）開催 		<p>7/10～7/14 9/14～9/15 1/24～1/29 2/8～2/9</p>	<p>延べ 72 人 延べ 96 人</p>
<p>エ 研修会・会員交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・提供会員・両方会員研修会・懇談会 提供会員更新講習の 1 講座として実施。 「リスクマネジメント講座」 「心肺蘇生法」 ・ふあみさぼひろば・全体交流会 <ul style="list-style-type: none"> ・夏のおやつ作り ・楽しい折り紙 		<p>9 月 2 日 12 月 9 日 7 月 22 日 11 月 12 日</p>	<p>2 人 3 人 10 人 9 人</p>
<p>オ 活動件数 2, 747 件（内 病児・病後児 0 件） （内 事前打ち合わせ件数 69 件）</p> <p>会員数 1, 655 人 依頼会員 1,238 人、提供会員 389 人、両方会員 28 人</p> <p>内 病児病後児登録者 424 人 依頼会員 379 人、提供会員 37 人、両方会員 8 人</p>			
<p>2 日常業務について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行したことに伴い、活動を再開する保護者も見られ、活動件数が増加した。活動を休止していた提供会員が活動を再開した。 ・保護者と共同でサポートしてほしいという希望が頻繁にみられ、内容を確認してホームスタートなどへつなげた。 ・活動中の提供会員にマスク・除菌ティッシュを配布し、感染症対策に役立ててもらった。 			

	<ul style="list-style-type: none"> ・依頼会員のサポート依頼を受け、提供会員を紹介しコーディネート ・提供会員から送られてくる援助提供書の管理、情報処理 ・会員情報の管理 ・会員募集 週刊長野・長野市民新聞等に取材に協力 ・広報活動…住民自治協の福祉ワーカーを訪問、スポーツクラブ等へチラシ配布 ・3か月毎に保育・幼稚園課への活動状況の報告 		
<h3>3 ホームスタート事業</h3>			
	<p>家庭内での保育者の孤立感の解消、親の心身の安定を高める、親の子育てへの意欲を高める、親の子育てスキルの学習、問題の発見・モニタリングの目的のため、ホームスタートジャパンの手法を取り入れ、訪問型子育て支援事業「ホームスタート・ながのこどもの城」を運営した。 妊娠から6歳未満の子どものいる家庭に途切れのない支援を行った。</p> <p>対象：妊娠期～6歳未満の子どものいる家庭</p> <p>第10回ホームビジター養成講座 参加者4人 (5/25～7/6) 9日 36人 ホームビジターフォローアップ講座 年6回 6回 46人 トラスティー会議 運営委員会の開催 年2回 3月12日 12人</p>		
<h3>4 こども第三の居場所事業 (日本財団子ども第三の居場所事業)</h3>			
	<p>経済状況や家庭環境に課題を抱える小学生（主に小学校低学年を対象とするが、小学校高学年や中高生の受け入れも可）を中心とする子どもを対象に学習支援に加えて、基本的な生活習慣を身につけるための支援等を行った。</p> <p>1 場所 もんぜんぶら座1階 「こども第三の居場所ながのこどもわくわくカフェ」</p> <p>2 開催期日 月～金/15:00～20:00 ※第1・3水曜日定休 第1・3日曜日/10:00～15:00 年間開催数 246回</p> <p>3 参加者数 参加者総数 児童 1,615人 1日平均 6.6人 ボランティア 530人 1日平均 2.2人 スタッフ 832人 1日平均 3.4人</p> <p>4 内容 学習支援、食事支援、生活支援（居場所の提供、生活相談） ☆日曜日には、子どもたちに様々な体験をしてもらえる機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学び屋（第1日曜日） 食育講座 12回 参加者数 延べ128人 1回11人 講師：元栄養教諭、栄養士 ・ ワークショップ（第3日曜日） 10回 参加者数 延べ102人 1回10人 工作体験、化学実験、プログラミング体験など 夏休みチャレンジツアー 7/28～8/11 5回 参加者数 延べ182人 		

プログラミング&英会話教室（全5回）手話体験、防災ワークショップ等

春のスペシャルウィーク 3/20～3/29

参加者数 261人

牛乳パック自由工作、ギネス紙飛行機づくり、
考えて調べて自由工作、やしょうまづくり等

- ・ 毎月第1月曜日 もんぷら保健室 元養護教諭
- ・ 毎月第3火曜日 読み聞かせ JPIC 読書アドバイザー

5 登録者数 89名

小学生

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
人数	10	22	15	8	12	3

中学生 1年生 12人、 2年生 3人、 3年生 3人

高校生 1年生 1人

6 広報

わくわく通信の発行・配布（9月・12月/1500部、3月/1600部）
近隣小学校へチラシ配布（鍋屋田、山王、城東、城山、加茂小）

（4回、4月、7月、9月、1月）

HPにて、毎日の活動状況をブログとして発信

マスコミ各社へのプレスリリース（3回/4月、10月、1月）

7 外部連携

<研修>

- ・長野県長野養護学校キャリアアップ研修Ⅱ「異業種体験研修」
- ・子ども・子育てサポーター養成講習会の受講者実習

<ボランティア受入れ>

- ・長野少年鑑別所（職員）
- ・長野県立大学健康発達学部食物学科（職員）
- ・長野女子短期大学（職員/学生）
- ・社会福祉法人森と木（施設利用者）

<地域連携>

- ・新田町（ながの祇園祭）
- ・長野青年会議所（ハロウィンフェスティバル）
- ・長野美術専門学校（黒板アート製作）
- ・ながの子ども・子育てフェスティバル実行委員会（ながの子ども子育てフェスティバル）
- ・長野市こども未来部子育て家庭福祉課（一人親家庭交流会）
- ・新田町区（通常運営）
- ・第四地区住民自治協議会（通常運営）
- ・第五地区住民自治協議会（中御所区九反太々神楽保存会）

<食材・物資提供>

- ・国際ソロプチミスト長野-みすず
- ・本だなプロジェクト2023
- ・ブックサンタ
- ・フードバンク信州
- ・株式会社ニッチ
- ・長野地域こどもカフェプラットフォーム
- ・全農ECソリューションズ
- ・社会福祉法人くりのみ園
- ・長水パン

<視察>

- ・第4地区住民自治協議会民生委員・児童委員協議会視察
- ・第5地区住民自治協議会民生委員・児童委員協議会視察

	<ul style="list-style-type: none"> ・若穂更生保護女性会 ・鹿児島県議会環境厚生委員会行政視察 ・大阪公立大学学生ボランティア被災地視察研修 ・中野市 ・社会福祉法人森と木 ・日本財団 <p><取材対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・信濃毎日新聞（2023年3月） ・長野市民新聞（4月） ・中日新聞（11月） ・週刊長野（11月） ・長野朝日放送（3月） 		
<h2>5 災害時支援事業</h2> <h3>（緊急時子ども支援ネットワーク事業）</h3>			
	<p>令和元年度台風19号災害被災者支援を行った体験から緊急時の子ども支援活動が効果的に行われるためには、緊急時子ども支援ネットワークの必要性を訴え、令和5年2月12日に長野市における緊急時子ども支援ネットワークが設立された。</p> <p>ネットワーク事務局を担い、地域や分野、セクターを超えた関係者の連携を促進するため、緊急時の子ども支援について、必要最低限のガイドラインを策定した。</p> <p>事業内容</p> <p>1 緊急時の子ども支援ガイドライン・コーディネーションガイドラインの策定と周知</p> <p>(1) 長野市緊急時の子ども支援ガイドライン作成委員会の立ち上げ、実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立ち上げ検討会（6/26） ・ 進め方検討会（7/24） ・ 作成委員会（7/10、9/25、11/27、1/12） <p>(2) ガイドラインの作成・周知</p> <p><行政との情報共有></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長野市（こども未来部こども政策課、総務部危機管理防災課）、長野市教育委員会、長野市社会福祉協議会との情報共有会議（9/8、11/15、1/11） ・ 長野市保健福祉部福祉政策課との調整（2/2） <p><発達支援センター受託団体との情報共有></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童発達支援センターにじいろキッズらいふとの調整（1/24） ・ 社会福祉法人森と木との調整（2/13） <p><パブリックコメント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4/1～7の7日間実施 <p>2. (1) 交流会にて、ガイドラインの内容を共有し意見交換</p> <p>2 ネットワーク拡大に向けた活動（交流会等）</p> <p>(1) 運営委員会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5/22、8/8、1/12、3/11 <p>(2) 交流会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3/24 緊急時の子ども支援を考える交流会 長野市緊急時の子ども支援ガイドライン（仮）の共有 <p>(3) 保育所等の子ども関係機関への参画の呼びかけ</p> <p>(4) 企業への参画の呼びかけ</p>	<p>6回</p> <p>4回</p> <p>2回</p> <p>1回</p> <p>4回</p> <p>1回</p> <p>随時</p> <p>随時</p>	<p>12団体</p> <p>5部署</p> <p>2団体</p> <p>2件</p> <p>12団体</p> <p>35名</p> <p>2社</p>

	<p>3 スキルアップのための活動（学習会、子育て世帯向け防災講座、災害支援訓練、子ども防災ワークショップ）</p> <p>(1) 緊急時の子ども支援の学習会の実施 <ul style="list-style-type: none"> 8/19 子どものセーフガーディング学習会 </p> <p>(2) 子育て世帯向け防災講座の実施（長野市のこども広場2拠点にて実施） <ul style="list-style-type: none"> 10/26 もんぜんぷら座こども広場じゃん・けん・ぼん 12/5 篠ノ井こども広場このゆびとまれ </p> <p>(3) 災害支援訓練の実施（地区や学校との共同訓練を想定）</p> <p>(4) 子ども防災ワークショップ（小学生向け、中高生向け） <ul style="list-style-type: none"> 8/8 子ども第三の居場所ながのこどもわくわくカフェ </p> <p>(5) 上述の活動より得られた結果を関係諸団体・諸機関に情報共有</p> <p>4 緊急時の子ども支援コーディネーターの育成</p> <p>(1) ガイドラインの理解を深める学び合い会の実施 ※ 2. (1) 交流会にて、ガイドラインの内容を共有し意見交換</p> <p>(2) 県内外へ積極的に講師派遣をし、緊急時の子ども支援の必要性と環境整備への理解を促す ※ 令和6年度以降で調整</p> <p>(3) 関連する学習会や研修に参加し、ネットワーク内に共有 <ul style="list-style-type: none"> 1/26・27 災害時の連携を考える長野フォーラム(N-net 主催) 2/18 第5回長野市域災害時支援ネットワーク交流会（長野市災害ボランティア委員会主催）1) </p> <p>5 外部ネットワーク組織との連携</p> <p>(1) 長野県災害時支援ネットワーク、長野市災害ボランティア委員会と情報共有を図りながら、連携体制を構築 <ul style="list-style-type: none"> 定例会（隔月） 三者連携会議（1/30、5/29、8/28、11/28、1/23） 第5回長野市域災害時支援ネットワーク交流会実行委員会（9/21、11/10、12/6、12/26、1/11） </p> <p>(2) 子ども支援だけでなく子どもに関連する多様な分野と情報共有を図りながら、連携体制を構築 <ul style="list-style-type: none"> 能登半島地震への対応について 長野市災害ボランティア委員会からの依頼を受け、長野市社会福祉協議会及び、長野県社会福祉協議会経由で支援物資を被災地に提供 </p>	<p>1回</p> <p>2回</p> <p>0回</p> <p>1回</p> <p>随時</p> <p>2回</p> <p>16回</p> <p>2回</p>	<p>30名</p> <p>30組</p> <p>14名</p> <p>事務局 2名</p> <p>事務局 1名</p>
--	--	--	--

*** こどもの心とからだの相談事業 ***

1 こどもの心とからだの相談室			
	<p>1 日時：毎月 第1木曜日 14時から16時</p> <p>2 会場：もんぜんぷら座こども広場活動室</p>	<p>10回</p>	<p>26件</p>

あそび、体験に関する事業

1 食育講座			
	1 会場：ながのこどもわくわくカフェ 2 参加者：こどもカフェへの参加幼児から中学生とその保護者 毎月 第1日曜日 こども広場の子育て中の親子 2月29日 8組 3 内容：季節に合わせた食文化を楽しみながら体験。		
2 冬のあそび広場2024			
	1 日時：令和6年2月2日～4日 2 内容：2日 豆まき 3日 節分おはなし会 4日 工作とわらべうた		

こどもの活動に取り組む人材育成事業

1 中高生の子育て理解講座の開催			
	1 会場：こども広場じゃん・けん・ぼん 2 対象：サマーチャレンジボランティアと地域まるとキャンパスの参加者	8月	10人
2 地域まるとキャンパスへの参加			
	高校生以上の学生に、地域・社会づくりの担い手となりうる「市民性」を育むことをねらいとした活動に、短期フィールドとして参加。 ・こども広場 じゃん・けん・ぼん 4名 延べ15日 ・ながのこどもわくわくカフェ 3名 延べ10日		18人 30人
3 ユースリーチへの参加			
	開催されなかった。		

こどもの文化芸術に関する事業

1 こどものアートプログラム			
	絵の具でかきかき 講師 母袋 京子 対象 0歳～3歳児とその保護者 開催日 11月29日 開催場所 じゃん・けん・ぼん活動室	1回	15組

子育て情報の交流促進や、子育て情報誌の発行事業

1 子育て情報誌じゃん・けん・ぽんの発行			
	子育て・子育て支援の情報提供や交流を目的に、子育て情報誌じゃん・けん・ぽんを発行し、広場利用者、市内小児科医院や行政、保健センター、支援センター等に配布し、広報した。	年6回	12,000部
2 ホームページによる情報提供			
	日々情報を更新。また、昨年に引き続きホームページにブログや新着情報を設け、各事業のスタッフが交代で毎日更新した。 ホームページの更新 Face book への投稿		
3 週刊長野等への情報提供			
	週刊長野へじゃん・けん・ぽん便り「子どもも親も いきいきと」として、理事交代で、月1回子育て・子育て支援の情報を提供した。12回モナミ、ほっとパルへも情報の提供をした。	毎月	

***子育てに関わる各種グループや、
機関団体との交流促進事業***

教育機関との連携			
1 清泉女学院短期大学非常勤講師派遣事業 (清泉女学院大学・短期大学との連携事業)			
	清泉女学院短期大学幼児教育学科「子育て支援」授業に非常勤講師としてスタッフ4名を派遣した。また、見学実習の場としてこども広場を提供した。 1 科目 子育て支援 1クラス30人ずつ3クラス (2年生) 2 期日 令和4年4月1日から令和5年3月31日 1クラス1時限 講義90分×6日、 見学演習10人ずつ 3時間×9日	27回	87人
2 プレパパ・プレママのペアレンティングセミナー (清泉女学院大学看護学部との連携事業)			
	妊娠期にある夫婦が、主産後の育児の現実とそれに伴う心理面や生活面の変化を知りイメージすることによって、お互いの出産後の育児についての考えを共有し、一緒に育児を進めるための準備を進める機会とした。清泉女子大学看護学部において石川智恵准教授が開催し、こどもの城が広報担当した。		6回

3 長野県立大学健康発達学部こども学科と長野市連携事業			
	<p>長野県立大学健康発達学部こども学科と長野市・長野県立大学連携事業として、「赤ちゃんママのおしゃべり会」を開催した。</p> <p>内容：校内に設置されているプレイルームを活用し、初めてママの交流を促進した。</p> <p>年3回 12月15日、1月19日、2月2日</p>	年3回	18組
4 長野看護専門学校			
	<p>長野看護専門学校母性保健学講座の臨地実習の場として連携した。</p> <p>参加人数 33人 各2日 延べ66人</p>		
長野市との連携事業			
1 長野市キャリア教育推進事業「赤ちゃんだっこ」			
	<p>乳幼児とその保護者が長野市内の中学校に出向き、幼児とのふれあいを通して、幼児に関心を持つとともに、自分の成長や家族・家庭、幼児の発達と生活について関心と理解を深め、家族や幼児に積極的にかかわることができるようにする。また、これからの生活を展望して、課題をもって家庭生活をよりよくする態度を育てた。</p> <p>4中学校 9学級</p>	9回	45組
2 令和5年度ながの子ども・子育てフェスティバル			
	<p>ながの子ども・子育てフェスティバル実行委員会構成団体として理事長実行委員長、また実行委員会事務局として参加した。開始当日は出展者として子育て応援・子育て情報ブースに、こども広場「じゃん・けん・ぽん」、「パパ講座」が参加した。</p> <p>1 事業内容</p> <p>(1) 開催日時 令和5年11月19日(日) 午前10時～午後3時 会場 長野県立大学美和キャンパス テーマ 出合いがいっぱい ここで広がる 子育ての環(わ) 主催 ながの子ども・子育てフェスティバル実行委員会 共催 長野県立大学こども学科「いい育児の日応援企画」 参加対象 子ども・保護者、子育て支援団体</p> <p>(2) 実績</p> <p>来場者総数 1200名 参加団体数 28団体</p> <p>(3) 当事者(子ども)の声を聴くヒアリング事業「中学生・高校生・大学生+吉本芸人の車座座談会」をわくわくカフェで開催し、カフェ利用者9人が参加した。</p>	2月23日	9人

3 休日マタニティセミナー (長野市保健所との協働事業)			
1 日時：毎月第3日曜日 10:00～12:30	2 会場：もんぜんぷら座こども広場・もんぜんぷら座会議室	3 スタッフ：助産師 2人、管理栄養士 1人、	4 対象：第1子出産予定で妊娠20～30週の妊婦とその夫(家族)の べ193組
5 内容等 ・講話(赤ちゃんのいる生活・母乳の育児等、妊娠中の食生活) 体験学習(沐浴・赤ちゃんのお世話)	12回	193組	
4 あそびましょう			
もんぜんぷら座こども広場「じゃん・けん・ぼん」に出て来にくい東部保健センター地域に出向き、地域密着の保護者の育児支援を保健センター保健師等と共催で行った。		0歳～2歳児 12回	151組
1 開催日	毎月第2、4木曜日を中心に月2回	2歳以上児 12回	91回
2 開催場所	長野市東部保健センター		
3 対象	1歳から3歳までの未就園児とその保護者		
4 内容	手遊び・体操、ワンポイントアドバイス		
5 ふたご・みつご広場			
長野市保健所との協働事業、北部保健センターと共催。 多胎児親子向けの遊びの広場を長野市民生児童委員協議会主任児童委員部会のボランティアと運営した。 日時 毎月第1月曜日 10時から11時30分 予約なし		12回	76組
6 ひとり親家庭交流会			
長野市子育て福祉課と連携し、ひとり親家庭交流会を開催した。 日時 10:30～12:30 令和5年11月11日 参加者少なく中止 令和5年11月26日 参加者数 大人10名、こども10名 内容 大人 ぷら座ホール 「考え方で楽になるお金の話」 講師 北村 きよみ(日本FP協会認定AFP) こども わくわくカフェ 食育講座「作って食べよう！」 講師 竹内 佳代子(元栄養教諭)		1回	大人 10名 こども 10名
7 各種委員会への出席			
理事長以下担当理事が出席 ・長野市社会福祉審議会児童福祉専門分科会			

	<ul style="list-style-type: none"> ・ SaSaLAND (ササランド) 運営委員会 ・ 要保護児童対策協議会 ・ ながのこども財団評議員会 ・ 子育て子育て支援検討委員会 ・ 自殺対策推進ネットワーク会議 ・ 都市内分権審議会 ・ 社会教育委員 		
地域との連携			
1 地域との連携			
	<p>中心市街地を中心に権堂町等地域の行事に積極的に参加した。</p> <p>2月 ・ ・ 灯明まつり ゆめ灯り絵展に出展 一般部門特別賞</p>		
他機関との連携			
1 長野労働局との連携			
	<p>長野労働局が開催した「子育て女性に対する就業支援事業」における受講者の託児を実施した。</p>	9回	託児 19名

チャイルドライン事業

チャイルドライン	
<p>1 チャイルドラインながの運営</p> <p>週2日、月・水曜日の午後4時から午後9時まで、子どもからの電話を受け付ける。</p> <p>① 講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「第21期受け手養成講座」(全10回) 9/9. 30. 10/21. 11/25. 12/9 受講者 19名 ・ 「受け手支え手継続研修」(全9回) 受講者 9名 ・ 江戸川子どもおんぶず (Zoom) 4/26 受講者 8名 <p>② 運営委員会・総会 (全1回) 5/13 参加者 14名</p> <p>③ 事務所会議 4/10 3名</p> <p>④ 交流会 2/3</p> <p>⑤ 事務所の運営 専従者3名を置き、業務を分担</p> <p>2 広報</p> <p>県内の子どもたちや行政・地域の方々に理解、支援してもらうための活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 実績やデータの入ったパンフレットを作成・配布 ② 社会福祉協議会施設・図書館等へ養成講座の案内チラシを配布 ③ 信濃毎日新聞・地域紙へ養成講座募集案内掲載を依頼 ④ ポスター、カードを児童館、フリースクール、子ども食堂、小児科へ配布 ⑤ 養成に応じッ出前講座を実施 	

- 更生保護女性会「チャイルドラインの現場から」 4/19
- ⑥ NPOステップアップ講座「広報チラシ作り」 5/28
- ⑦ ながの子ども子育てフェスティバル パネル展示 11/19

3 長野県チャイルドライン推進協議会の事業に参加・協力

- ① 総会 4/15 場所：議員会館
- ② 合同研修会 6/17 場所：諏訪
- ③ カード、ポスターに関わる活動
 - 点字カード作成依頼（てんとう虫の会） 7/13
 - 長野県庁へチャイルドラインカード仕分け 7/19 5名
 - 県庁搬入 7/31
- ④ 運営委員会（全5回） 場所：上田

4 チャイルドライン支援センターの事業に参加・協力、北関東信越エリア会議

- ① 支援センター総会 6/10
- ② カード、ポスターに関わる協力
 - 夏の全国キャンペーン 児童館、小児科等へポスター配布 7/22
 - 茨城県の子どもたちへカード配布 11/30
- ③ 全国運営者意見交換会 「フリーダイヤルのこれからについて」 11/5
 - @東京都中小企業会館銀座
- ④ オンラインチャット研修 11/12 @ZOOM
- ⑤ 全国研修 基調講演・分科会 12/9
 - @国立オリンピック記念青少年総合センター
- ⑥ エリア研修「子どもの権利条約とこども基本法」田沢茂之氏 1/20・24・2/4 同内容 @ZOOM
- ⑦ 研修会 「効果的な社会発信を考える」講師：関口宏聡氏 2/15 @ZOOM
- ⑧ 運営者・支え手研修会 3/2 @新宿BIZ
- ⑨ 能登半島地震被災地支援募金送金 3/14
- ⑩ エリア会議（10団体）（7/15・10/1・1/27・2/4 全4回） @ZOOM

5 長野県、市の研修・会議

- ① 県弁護士会 「子どもアドボカシーについて考える」 6/17 @県弁護士会館
- ② 県社会教育研究大会 「事例発表と分科会」 9/14 @県総合教育センター
- ③ 北信地区放課後子ども総合プラン研修会 「こどものサインが見えますか？」 10/5 @合庁
- ④ 北信地区研修会 「ファシリテーションをUPして話し合いを対話に高めよう」 11/28 @県立図書館
- ⑤ LINE相談窓口「ひとりで悩まないで@長野」連絡協議会 12/14 @ZOOM
- ⑥ 社会教育委員会 2/14 @中部公民館

6 もんぜんぶら座 関係

- ① 定例会議 6/16・7/21・9/13・10/12・1/19
- ② 消防訓練 6/23・10/25

7 NPO法人ながのこどもの城いきいきプロジェクト 関係

- ① 定例会議 4/7.6/10.11/30.1/17.3/15.3/26 場所：もんぜんぶら座・ZOOM
- ② 活動 25周年記念事業 2/25 場所：生涯学習センター・ホテル国際 21
 - 記念講演会「頼り上手」「手抜き上手」の子育てへ 倉石哲也氏
 - 記念式典・祝賀会

<p>8 財政・渉外</p> <p>① カード協賛依頼 9件 長野県小児科医会・(株)本久ホールディングス・栗田病院・今井こども医院・(株)シューマートタイヤ&ホイールMANEKI-MOAI ZOU・長野りんどうライオンズクラブ竹内こども医院・鈴木眼科医院</p> <p>② 寄付金 21件</p> <p>③ 賛助会費 団体 7件・個人 51人</p> <p>④ 募金箱の設置・・・17ヶ所</p> <p>◎ 経費の配分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「受け手」養成講座実施 ・「受け手」「支え手」のための研修会を実施 ・事務局員の配置 ・事務所諸経費（管理費、専用電話、光熱費・備品等） ・チャイルドライン事業を地域社会へ周知し、理解と支援を図るためのパンフレット作成費 ・県内の子どもたちへチャイルドラインの電話番号を知らせるためのカード作成費（チャイルドラインすわ、チャイルドラインうえだ、チャイルドライン佐久と連携、協力） ・チャイルドライン支援センター、長野県チャイルドライン推進協議会の事業への参加 ・運営に当たって必要が生じたもの <p>◎活動人員数（2024年3.31現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●支え手 登録数 3名・実働数 3名 ●受け手 登録数 45名・実働数 30名 	<p style="text-align: right;">以上に掛かる必要経費</p>
--	--

特別記念事業

こどもの城設立25周年・こども広場・チャイルドライン 開設20周年記念事業	
	<p>ながのこどもの城いきいきプロジェクトは、1998年9月に任意団体「ながのこどもの城づくりを進める会」として発足し、本年度設立25周年を迎えた。また、もんぜんぷら座こども広場じゃん・けん・ぼん、チャイルドラインは、2003年6月に開設し本年度20周年を迎え、法人また主たる事業の節目として、実行委員会を設け、内容を検討し記念講演会、記念式典・祝賀会を開催した。</p> <p>1 日 時 令和6年2月25日（日） 午後1時30分から午後7時30分</p> <p>2 場 所 記念講演会 長野市生涯学習センター 大学習室1 〒380-0834 長野市鶴賀問御所町 1271-3</p> <p>記念式典・祝賀会 ホテル国際21 南館2階 芙蓉の間</p>

	〒380-0838 長野市県町 576 電話 026-234-1111	
3	出席者 記念講演会 65人 子育て当事者、支援者 48人、スタッフ 17人 記念式典・祝賀会 65人 来賓 26人、役員 11人、スタッフ・会員 28人	参加者数 65名 参加者数 65名
4	記念事業内容 スローガン 「育てよう支えよう子どもたちの未来」を合言葉に、こども支援、子育て支援を進め、子どもたちの未来を作ろう！ (1) 記念講演会 13:30～15:30 記念講演会 「頼り上手」「手抜き上手」の子育てへ 講師 武庫川女子大学心理・社会福祉学部 教授 倉石 哲也 話題提供 15:45～16:30 「子育て支援としての対応場面「相談」について考えましょう」 「令和6年度事業の概要（子育て支援関係）」 講師 倉石 哲也 (2) 記念式典・祝賀会 17:30～19:30 祝辞 長野市長 荻原 健司氏 長野市医師会長 釜田 秀明氏 長野市歯科医師会会長 小林 博昭氏 来賓 26人 乾杯 長野ガイア応援団 KID 団長・前長野市長 加藤久雄氏 合唱 スタッフ一同 事業報告 創設時に思いや、その後の事業報告 役員、スタッフの紹介 (3) 記念リーフレットの作成 A3横2枚観音開きリーフレット200部作成 内容 P1 表紙 P2 設立に込められた思いとともに P3, 4, 5, 6 設立時からの活動年表 P7 市長、理事長挨拶 P8 主な事業紹介 (4) 記念品の作製 エコバッグにながのこどもの城のロゴを印刷し、150個作製 式典・祝賀会への参加者に記念品として配布	